

会 告

[ゴシック体は本会主催]

開催日	催物ご案内():開催地	参加費 (テキスト代)	申込締切 期日等	掲載号
12月4日(土)	第36回有機合成化学若手研究者の仙台セミナー(WEB)	無料	—	本号
24日(金)	星薬科大学-理研-東北大学医薬品開発研究センターシンポジウム, 第4回「精密武装抗体の合成と機能評価」シンポジウム(WEB)	無料	—	第79巻9号
2022年 1月17日(月)	有機合成新春講演会(WEB)	無料	—	本号
18日(火)	マイクロプロセス最前線シリーズ(WEB)	—	80名	本号
19日(水)	新春特別フォーラム(東京・WEB)	—	—	—
5月11~12日(水~木)	第38回希土類討論会(熊本)	—	—	本号

本誌会告への掲載について 本誌会告欄では、本会の本部・支部が主催または共催する催しものについては必要な範囲で全文を掲載いたします。他学協会等の主催するもので、本会が協賛の催しものは一部の内容のみの掲載とさせていただきます。協会HPにも掲載しております。原稿締切は掲載号の前々月25日(2022年2月号は12月24日)厳守です。なお、開催の可否等、詳細は主催団体のHPをご覧ください。

第36回有機合成化学若手研究者の 仙台セミナー

主催 有機合成化学協会東北支部

日 時: 12月4日(土)

開催方法: オンライン

講 演: 大学院生および若手研究者による研究発表・討論

1. Pd触媒を用いたアレーン-アルケン直接カップリング反応によるベンジリデンフルオレン誘導体の合成および π 拡張分子への変換(東北大院理)松山英憲
2. 複合プレンステッド塩基によるベンジル位炭素-水素結合カルボキシル化反応(東北大院薬)東原樹
3. 機械学習による3級アリールホスフィンの電子的性質の予測(岩手大院理工)柳村海希
4. JBIR-141の全合成研究(東北大院薬)八十島浩太郎
5. アンサマクロラクタム抗腫瘍活性天然物 Cytotrienin A の全合成(東北大院薬)建石悠貴
6. 多置換4,7-ビベンゾ[*b*]チオフェンの合成と分子建築への応用(東北大院理)三上進一
7. Asymmetric Synthesis of Functionalized 9-Methyldecalins Using a Diphenylprolinol-Silyl-Ether-Mediated Domino Michael/Aldol Reaction(東北大院理)Hugo Alberto Salazar Gómez
8. シリレンへの可視光照射による飽和炭化水素のシリル化(東北大院理)増田健人
9. Aspernomineの合成研究(東北大院薬)寺地穂果
10. 水素化ナトリウムを用いたステレン類のヒドロ炭素官能基化反応の開発(東北大院薬)小沼蒼
11. 高分子担持型有機触媒を用いた有用化合物のフロー合成(東北大院理)服部修佑
12. 電子不足なリン配位子を有するイリジウム触媒を用いたアミドのヒドロシラン還元によるエナミン合成およびその応用(東北大学際研)田原淳士

参加費: 無料

問合先・連絡先: 980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3 東北大学大学院薬学研究科 徳山英利・植田浩史(TEL 022-795-6887 or 6878, FAX 022-795-6877, e-mail hidetoshi.tokuyama.d4@tohoku.ac.jp, hirofumi.ueda.d8@tohoku.ac.jp)

有機合成新春講演会

主催 有機合成化学協会関西支部ほか

日 時: 1月17日(月)

開催方法: オンライン

プログラム:

1. 免疫システムから学んだこと: 進化分子工学による人工生体分子(抗体酵素, ペプチド中分子医薬)の設計と創出(阪府大院理)藤井郁雄
2. 人工遺伝子スイッチによるエピジェネティック創薬(京大院理)杉山弘
3. 二重活性化型不斉触媒の創製(阪大産研)笹井宏明
4. 0から1を目指して—炭素-炭素結合を切る化学(京大院工)村上正浩
5. 配向基: 不活性な結合を利用した有機合成(阪大院工)茶谷直人

参加費: 無料
参加申込方法: HP (<http://www.soc-kansai.org/event/2022/2022shinshyun.html>)からお申し込み下さい。もしくは、「新春講演会」参加申込」と題記し、氏名、所属、連絡先(e-mail, TEL)を明記のうえ、e-mail等でお申し込み下さい。*参加登録をいただいた方には、1月7日頃にWEB配信の聴講方法についてe-mailでお知らせします。

問合・申込先: 550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階 有機合成化学協会関西支部(TEL 06-6441-5531, FAX 06-6443-6685, e-mail: seminar@soc-kansai.org)

マイクロプロセス最前線シリーズ【WEB 配信】 ～新しいマイクロリアクター・マイクロデバイスの展望～

主催 化学工学会関西支部
協賛 有機合成化学協会関西支部

日 時：1月18日(火)

開催方法：オンライン

プログラム：

1. マイクロ化学プロセス用新規連続抽出分離デバイスの研究
開発(阪府大院工)武藤明徳
2. フローマイクロリアクター研究が導く高速合成化学(京大院
工)永木愛一郎
3. マイクロ流体デバイスを用いた微粒子材料の調製・分離技
術の開発(千葉大院工)山田真澄
4. マイクロ分析技術と欧米の動向(メトラー・トレド)山崎陽一
5. 新規マイクロミキサーを利用した革新的微細乳化技術の開
発と実用化(花王)高木道哉

参加申込締切：定員(80名)になり次第締切

参加費：主催・協賛団体正会員19,000円、主催・協賛団
体法人会員23,000円、大学・公設機関7,000円、学生会員
3,000円、会員外37,000円、会員外学生5,000円(いずれも要
旨代含)

申込・問合せ：550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技
術センター6階 化学工学会関西支部(TEL 06-6441-5531,
FAX 06-6443-6685, e-mail: apply@kansai-scej.org, HP
http://www.kansai-scej.org/)

第38回希土類討論会

主催 日本希土類学会
協賛 有機合成化学協会ほか
後援 日本農芸化学会ほか

日 時：5月11日(水)～12日(木)

会 場：熊本市国際交流会館(860-0806 熊本市中央区花畑町
4-18)

討論主題：1. 希土類とその化合物の合成・構造・物性, 2. 希
土類の化学(溶液・有機金属・生化学・分離・分析), 3. 希
土類金属および化合物の物理, 4. 希土類金属および金属間
化合物の製造, 5. 希土類の応用(磁性材料・発光材料・固体
電解質・その他), 6. 希土類の資源, 分離, リサイクル

発表形式：原則として口頭発表のみと致します(発表10分, 討
論4分, 交代1分)。

発表申込締切：1月21日(金)

予稿原稿締切：3月31日(木)

事前参加登録締切：4月20日(水)

申込要領：HP(<https://www.kidorui.org/discussion.html>)内に
ある「発表申込フォーム」より申し込み下さい。

参加費：HPをご覧ください。

連絡先：565-0871 吹田市山田丘2-1 大阪大学大学院工学研
究科応用化学専攻内 日本希土類学会事務局(TEL 06-6879-
7352, FAX 06-6879-7354, e-mail: kidorui@chem.eng.
osaka-u.ac.jp)

* * *

東洋合成記念財団 研究助成の募集

(公財)東洋合成記念財団は2022年度の研究助成の募集を行
います。詳細は下記HPをご参照,あるいは下記連絡先にお問
い合わせ下さい。

1. 募集要項

(1)助成対象研究テーマ：

- ・有機・無機および高分子化合物の光化学に関する研究
- ・感光性有機化合物, 感光性樹脂及びリソグラフィ関連材料に
関する研究
- ・有機化合物の不純物除去技術又は分離精製技術に関する研究
- ・化学プロセス工学に関する研究
- ・香料及び香氣成分に関する研究
- ・新規触媒の開発及びそれを用いた有機合成反応に関する研究

(2)対象者：

- ・国内の大学または学術研究機関に常勤し, 研究を主体的に
行っている45歳以下の研究者
- ・同一の研究テーマで他の財団の助成金等を受けていない方

(3)募集期間：2021年12月1日～2022年1月31日

2. 助成内容：(1)助成金額 200万円/件, (2)助成件数 2件

3. 連絡先：千葉県市川市上妙典1603番地 (公財)東洋合成
記念財団事務局(TEL: 047-320-5766, e-mail: tgk_zaidan@
tgcfnd.or.jp, HP: <http://www.tgcfnd.or.jp/>)

* * *

お詫びと訂正

Vol.79, No.7, 2021に下記誤りがありました。

p 671 左カラム上から6行目

(誤)高田悠理

(正)高田悠里

p 671 左カラム上から7行目

(誤)高下智之

(正)高下朋之